

5月

まちづくり通信

発行 飛騨高山まちづくり本舗
住所 〒506-0845
高山市上二之町 44-4
電話&FAX 0577-33-5282
hompo@takayamashishouren.net

YY 掲示板 ネット討論など ドリーミンオフィシャルサイト ★<http://www.takayamashishouren.net/d/>

“見せるまち”から“魅せるまち”へ さま変わり!!

地域の人たちに親しまれ 気軽に集える”市”を開きたい 団塊の世代の有志のねがい

三重塔と大銀杏のある国分寺は、四季を通じてみやびな風情を残す市民の憩いの場です。昨年から、国分寺通りの商店街の有志を中心に、地元の人たちが日々の暮らしをもっと楽しめるようにと、市民のための市(いち)を催して、定期的開催する準備をすすめています。

国分寺第三商店街では10年来の地域の願いが、元気な団塊の世代の人たちの熱意によって、いよいよこの夏、かたちになろうとしています。

呼びかけ人は、昨年の夏、”寺子屋かんかかん”で子どもたちに昔ながらのさるぼぼづくりを教えてくださいました方で、国分寺の向かいで円空彫刻とひだいち染めの店を開いている古川禮子(れいこ)さん。「団塊の世代の私たちが今できることを自分たちの世代の将来のためにも今始めなければ…」と、一年近く実現に向けて準備をされ、今年3月に実行委員会(座長・山下正治さん)発足。ミーティングを重ね、国分寺の7月8日(土)の薬師講の際に、第一回の薬師市を開くことになりました。

開催まで3ヶ月、市民企画の薬師市に地域住民の期待は高まることでしょう。

同商店街では、最近独自のマップを作成されるなど、自分たちのまちは自分たちでプロデュースしようという、商店街の意気込みが各所から伝わってくる、この頃です。



▲商店街の散策マップは、28店舗の紹介がされている



▲かつてここで自然発生的にひらかれた市があった

川柳からみえる 飛騨の風景

第33回川柳あんどんコンクール入選句集から

サラリーマン川柳が話題となり、あらわな心情に、おかしいやら切ないやら。お父さん頑張つて!と、エールを送りたくなります。さて、高山では毎年夏の夜を楽しませてくれるあんどんコンクール。昨年の入選句集の中に、飛騨・まちを詠んだ句がありましたので、一挙ご紹介してみましよう。

商店街で しゃべって笑って 買い忘れ

誘いあえる 絆嬉しい 夜都市

酒蔵は 息をひそめて 出番待つ

円空の 仏笑顔と 目で魅せる

朝市で 一つ覚えた 里言葉

朝市が 四季折々の 飛騨を告げ

美味いだろう 父の自慢の 野菜たち

村が消え 路頭に迷う 鎮守さま

山幾つ 越えても市内 大合併

乗鞍の 上まで市なり 日本一

飛騨弁を 真似て猿ぼほ 二つ買う

さるぼほも 交通安全の たすきかけ

※ちがった視点から、見えるものがありますね。今年の募集は20日迄。問合せは村田洋品店 32-1441

今年はどうするエコな取組み

ごみ★ごみりポート<まちなか編>

商店街と夏祭りといえば、市民として気になるのは宴の後のゴミの散乱とその行方。そういうものやではないか…は過去のこと。昨今、商店街でみつけたゴミの風景にも、変化がみえてきています。

かんかかんの事務所を手伝っている20代のOさんは、イベントや祭りに出かけていくときはいつもMy箸、My食器をもっていくとのこと。こういう意識をもった世代が育ち、また、愛・地球博で環境への意識が高められたことで、今年の各地の夏祭りがどんな工夫をしていくのか興味のあるところです。迎える側として、参加する側として、何ができるでしょう、今年の夏は?!



▲一昨年本町通り納涼夜市。にわか作りで置かれたゴミ回収ステーション。箱はすでにあふれそう。これからどうなるかは想像できますね。

今年のりんくるりん二十四日市。本町一丁目路上には、食べたあとの食器を回収するゴミ分別ステーション。一人ひとりの自覚やゴミへの責任感が新鮮に感じられるスポットでした。▼



▲昨年りんくるりん縁日のゴミ標本パフォーマンス。白装束の若者が無言で路上に落ちているゴミを採集してそのまま標本に。実は、市民の意識が問われる笑えないジョーク?



居場所 いち、にの、さ〜んでスタート!!

あったかいこころの居場所づくりの集い「こころんネット1・2の3」が、5月25日木曜日10時~12時、清見中央公民館乳幼児教室わくわくルームで開催されます。当番地区が自由に企画をし、世話役と参加者が入替わりながら各支所地域に居場所づくりの輪を広げることができたら、との取り組みです。問合せはまちづくり本舗 33-5282 火曜・金曜午後1~4時(担当:中

講座 どこで生きるかが選べる飛騨へ

ホスピス講座開校

11月まで全5回シリーズで開催される、飛騨にホスピスをつくるための公開講座。第1回は「ホスピスってなあに」討論会

・6月11日(日) 午後1時半~

・高山市役所地下市民ホール 資料代500円

・主催:飛騨にホスピスをつくる会(市民協働部会)

※申込みは0577-34-7984(FAX)へ

郷土食 下呂・朴葉すし祭り2006

益田の各家庭の朴葉すしの試食、朴葉すしにまつわる話、益田の伝統文化再評価など。益田ファンが増えそう!

日時:6月3日(土) 午前9時~午後3時

場所:下呂市萩原町上村 小池芳雄さん宅

参加費:朴葉すし5個か500円(レシピ集とすし1個)

※問合せは、北條さん 090-9350-4415



よってらっしゃい みてらっしゃい
待ち育ての主役、「ふつうの人」の物語
延藤氏の最新刊「おもろい町人(まちゃんちゅ)

神戸市・真野地区、東京都武蔵野市、京都市・洛西ニュータウン、高知県赤岡町での住宅の建て替えや住民同士の交流のなど5つの物語。名調子の幻燈会の雰囲気そのまま伝わる。

※まちづくり本舗に数冊あります。1600円+税。



教えて協子さん その⑫
協働のまちづくりに
かかせないことは?

一般市民も声かけや
つなぎ人があれば

まちづくり本舗編集ハンドブック『地域暮らし読本、協働のまちづくりのしくみづくり』より

活動している私たちは、市民(地域に住むひとたち)のために一生懸命やっているのに何か邪魔ものがられ、面倒くさいことをはじめたような目で見られてしまいます。

(物好きな人と思われているJさん)

◎協働のまちづくり市民(地域)との付き合い方

まちづくりとは最終的には地域に住む人々の幸せのためにあるといっても過言ではありません。それなのに、どうしても参加のまちづくりの一番関わりにくいのが市民ともいえるのが現実です。市民活動団体が、「まちづくりしませんか。」と、声かけても自重されるのは当然かもしれません。やはり、行政なり社会福祉協議会なりが中間に入ってくると割合打ち解けやすいものです。ただし、今は台風など防災対策を契機として町内会が「自分たちの地域は自分たちの手で」の意識が今まで以上に高まりつつあります。町内会との協働のまちづくりモデルができたなら、市民活動やNPO活動は飛躍的な成長を遂げることが期待できます。

赤保木公園が 音楽と笑顔いっぱいの広場になった

好天の日曜日(5/14)、音楽を通じ、子供・高齢者・障がい者の方・世代・背景の違いも超えて交流しようと、ふれあい広場 in カーニバルが開催されました。音楽やダンス、フリーマーケットやワークショップに、若者や家族連れが楽しみました。ゴミを減らす工夫も各所で見られました。「これからもみんなが自然体でいられる居場所づくりができれば」と、主催の「飛騨地区障がい者児を支える会」の野中さん。ここにも、点から線、線から面の広がりが見うけられます。

人つなぎは、お・も・し・ろ・く・や・さ・し・く

5/9コミュニケーター養成講座2より

参加者がかかわる活動から、「この人のおかげでこんなことができた、その人はこんな人で、こんなことが得意で、こんな役割だったか」を発表。最後に講師の延藤さんが「高山式人つなぎ術」としてポイントをまとめられました。ご参考にどうぞ。次回は7月4日(火)。

お=お互い補い合い 触発し合い 成長し合う

も=もっと明日を豊かに生きることの志を!

し=食縁を深める いっしょに食べることでつながれる

ろ=ロジック(理論)+パトス(情念) 瞬間に分ち合う感情

く=苦労に挑戦 無鉄砲さ チャレンジ精神

や=やんわりと しばられずに ただよい続ける どうにかなるさ

さ=更なる得意技を引き出し 分ち合う

し=私的に閉じずに楽しさを開き続ける

く=苦しみや痛みの分ち合い

自己と他者が豊かに生きることをつなぐこと

まちづくり本舗からお知らせ

▲協働メールの参加登録受付中

毎月まちづくり通信のネット配信や市民活動に関わる参加個人・団体の相互の情報の受発信に利用できるメールのシステムです。申込みは、まちづくり本舗のメール宛に、メールアドレスをお知らせ下さい。
hompo@takayamashishouren.net

▲二階にもコピー機登場

一階のコピー機と同じように1枚10円でご利用下さい。通信の郵送作業はその場でできます。会議にも便利です。和室は、昼間一人につきワンコイン100円でご使用いただけます。

機械は、飛騨高山コンベンションビュロー様より、ご寄付いただきました。ありがとうございました。

YOU&ME(ゆめ)

サロンばれっと インフォメーション

★男女共同参画社会をテーマに市民と行政の協働で運営する「ばれっと」からのお知らせ

提供:ばれっと倶楽部
問合せ:0577-35-3134

市役所企画課
会場:女性青少年会館
0577-32-0394

YOU&MEサロン「ばれっと」に参加しませんか

毎月第2・第4木曜日1時半~4時

□男は度胸?女は愛嬌? 5/25

なんかへんだな 日常語...

□日本茶を楽しもう 6/8 講師:野畑敬子さん
いつものお茶がぐんと薫り高くなるコツ

地域男女共生講座の受講生募集!

県主催、男女共生大学3日間が地元で受講できます
6/24 7/8 7/22の土曜日 10時半~15時半
高山市役所地下市民ホール 受講無料 定員50名
託児(無料)は一才児より 申込みは企画課へ

金曜野菜市 ◆11時から店開きしています。

クラフト工房◆(一階奥の棚コーナー)

手編み帽子、トートバック、エプロン等展示販売中。
ご注文もお受けします。手にとってごらん下さい。

ギャラリー ◆『五月に遊ぶ子どもたち(版画)』

随時展示のご希望をお受けしています。

子どもひろば◆アンケートに寄せられた

ご意見を参考に、便利な情報・おすすめスポットを紹介する、「子育てお役立ち情報 mamap」が完成まじか。来月には皆さんに手にとっていただけます。かんかこかん等で無料配布。
ママップの表面&裏面→



かんかこかん
いなかのしん

まちひとぶら座
かんかこかん
開館時間
10時~5時
0577-33-5055